

# 各地区業況アンケート結果（29年2月調査分）

（29年2月24日）

全国鉄鋼販売業連合会

2月23日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ63名の回答があり（回答率41.7%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※  $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

## 1. 前年同月比、数量減は3割強

問1】貴社の1月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	9	9	24	14	7	63	67
比率	14%	14%	38%	22%	11%	DI-2	DI+6
売上金額/前年同月比	12	10	23	12	6	63	65
比率	19%	16%	36%	19%	10%	DI+16	DI+15

## 2. 赤字企業2割弱

問2】貴社の1月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	18	14	19	8	4	63	66
比率	29%	22%	30%	13%	6%	DI+54	DI+64

## 3. 仲間取引やや減少

問3】貴社の営業窓口から見て2月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	2	6	25	11	2	46	-11	-15
民間建設向	2	11	25	15	1	54	-4	±0
自動車向	1	3	23	4		31	+3	±0
その他需要家向	2	9	29	13	1	54	-4	+8
仲間取引	1	5	28	15	3	52	-27	-2
計	8	34	130	58	7	237	-9	-1
比率	3%	14%	55%	25%	3%			

## 4. 春先以降も微増程度と期待薄

問4】貴社における向う3月から5月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測		25	29	7	2	63	62
比率		40%	46%	11%	3%	DI +22	DI +39

## 5. 酸洗、表面処理、いまだ品薄状態

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	品種別	A	B	C	D	E		2月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-39	-48	-32	-13	-28	-32	-27	-30	-24	-38	-28	-19	鉄筋用丸鋼		2	20	8	1	31	-26
-30	-21	-30	-21	-23	-15	-15	-15	-14	-17	-11	-5	構造用丸鋼		1	33	2		36	-3
-15	-22	-23	-11	-21	-11	-12	-8	-3	-8	-7	-5	平角鋼		1	29	2		32	-3
-22	-10	-34	-7	-16	-9	9	4	16	26	58	38	H形鋼	1	8	20	2		31	26
-47	-50	-57	-26	-38	-19	-14	0	4	0	18	0	コラム			17	5		22	-23
-17	-19	-28	-12	-19	-10	-8	-10	-10	7	6	2	小形山形鋼		2	28	4		34	-6
-17	-21	-30	-15	-22	-17	-18	-16	-10	7	11	7	中形山形鋼		1	30	3		34	-6
-21	-18	-30	-21	-29	-18	-24	-7	-10	3	15	10	溝形鋼		3	28	2		33	3
-25	-37	-46	-64	-36	-22	-19	-19	-14	-13	-11	-9	軽量形鋼C形			24	6		30	-20
-44	-44	-32	-32	-33	-17	-28	-22	-20	-20	-20	-12	軽量形鋼広巾			17	4		21	-19
-58	-52	-62	-41	-55	-43	-44	-33	-23	-15	4	36	冷延薄板	2	7	17	2		28	32
-59	-41	-36	-35	-40	-35	-29	-20	-19	-6	-3	21	熱延薄板	1	8	20	3		32	22
-62	-53	-62	-46	-50	-53	-34	-27	-22	-7	26	62	表面処理鋼板	4	9	15	2	1	31	42
-69	-61	-63	-45	-48	-48	-29	-27	-22	-18	33	100	酸洗鋼板	6	16	3	3		28	89
-63	-54	-47	-32	-30	-23	-22	-24	-23	-9	3	30	中板	1	15	18	3		37	38
-57	-44	-44	-27	-16	-21	-20	-24	-23	-6	-5	18	厚板		10	24	4		38	16
-25	-31	-15	-11	-11	-4	0	-13	-5	-7	-11	25	極厚板		5	12	1		18	22
-22	-29	-25	-30	-11	-21	-17	-14	-11	-8	-14	-11	縞板			25	1	1	27	-11
-32	-38	-41	-32	-28	-26	-24	-22	-23	-20	-15	-16	中径角		2	23	8		33	-18
-19	-29	-33	-25	-33	-26	-17	-12	-17	-16	-15	-16	ガス管黒		3	31	6		40	-8
-24	-26	-31	-27	-23	-31	-25	-16	-15	-17	-13	-11	構造用鋼管		2	26	6		34	-12
-38	-35	-38	-28	-28	-24	-20	-17	-14	-8	2	11	計	15	95	460	77	3	650	6

## 6. 荷動き悪く、価格転嫁遅れる

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	冬場は例年と同じく、荷動きが悪くなっている。季節的に需要家の仕事量も少ない状況である。値上げは実行中だが、購買意欲は少ないと見受けられる。
	B	冬場だが、各品種の価格は上昇している。不需要期でなかなか浸透は難しいが、市況形成に努力するしかない。
	C	民間建設、プラントなどの仕事が出てきた。例年と比べると件数、量とも多い。酪農関連の物件も多いので、ファブは忙しい年になりそう。
東北	A	電話の鳴りが極端に悪い。新規案件が少なすぎるのが気にかかる。在庫品の荷動きもパツとしない。値戻しに無理があるように感じてきた。
	B	年明けの不需要期に入り、荷動きは鈍化している。昨年から工事遅れもあり、ファブ関連は安定している。メーカー値上げに対し、価格転嫁を行っているが、ファブからの抵抗が厳しく時間がかかる。また、原料炭のスポット価格も下落、スクラップの頭打ち等で先行き不透明感が強い。
	C	春は近い。期待するしかないが、現実は厳しい。
	D	需要は少ない。値上げ転嫁できていない。
新潟	A	今年に入ってから需要が激減している。メーカー値上げは待ったなしに展開されているが、需要がなく、この先どうなるのかももう少し様子を見ていきたい。
	B	小口物件の引合いが増えたが、大口物件はまだ不足気味である。切板価格はなかなか値上げが難しい。
	C	意外にも1月は荷動きが良かった。未だ地場の景気は底が浅いのか2月は出足が鈍い。
	D	値上げ転嫁を実行しているが、仕入値上げの速度が速く販売価格に追いつかない。荷動きが良くない中、価格だけが走っていて不安である。
	E	1月は稼働日数を除いても低調に推移している。単価のアップは当方のPRで需要家もある程度納得している。
神奈川		建設関連では若干の動きがある。期末のため、高負荷な客先はあるが全般ではなく限定的である。
東京	A	引合いが減ってきている。市況も一服感がある。こういう時はメーカーの愕然とした対応が必要である。
	B	高炉メーカーの値上げに対して販売価格が追いつかず赤字商売になっている。早急に販売価格を改善しなければならない。荷動きはそこそこ堅調だが、利益なき繁忙となっている。
	C	新日鐵住金(株)大分製鐵所の火災事故の影響が厚板のみならず、中板、薄板にも広がってきている。
静岡	A	業種により濃淡が顕著となっている。荷動きは鈍く、市中在庫が減っている割に価格転嫁も遅れている。公共工事は年度末に向かい発注は減少している。

静岡	B	大手流通の販売内容の5割以上がH形鋼ほか条鋼類である。その他品種の鉄鋼製品についても販売を強化しているようだが、価格破壊はNGでお願いしたい。請負工事の中で軽視されている工事箇所がある。人材不足でルーズな管理を押し付けているゼネコンが増加しているのではないかと。値上げは粛々と迅速にしてほしい。なぜなら、購買側も情報は迅速で正確だからである。東京五輪2020をはじめ、首都圏、地方ともにインフラ、設備投資への鉄鋼製品供給案件に不足はないだろうが、足元は弱い。「毎度ありがとうございます」と振舞っていても、内心は小ロット、手間食い、経費増などを懸念している。
	C	昨年12月中旬より需要が減ってきている。メーカー値上げと相反する環境となっている。4～6月に期待か。
石川	A	中小型工事が減っている気がする。新幹線に携わる重機、杭打ち、鉄筋工の不足がこれから表面化してくるが、どのように工面できるか。福井県内の落札も不調が多く、予定通り敦賀まで開通するの心配である。京都まで一気に着工するのなら、大いに心配もするが、数十年後の開通なら遅れても大勢に影響は少ない。今は単なる過疎地の工事で無計画なプロジェクトにすぎない。
	B	我々の在庫も不特定多数の客先に対する純粋なヒモ付き材である。大量に使用するユーザーだけをヒモ付き先として解釈しないでほしい。
富山		不需要期と重なり、価格改定にも関わらず全般的に停滞ムードである。材料不足が最終ユーザーまで浸透し、見積りから発注までスムーズになってきている。
福井		(土木) 2～3月にかけて北陸新幹線の入札が15工区であり、施工業者が決定した。既に工事が動いている工区もあり、今年の秋以降は非常に忙しくなると思われる。(建築) 工場、店舗、量販店、原電関連といった工事案件が多少あるものの量は少ない。福井駅前再開発でいくつか案件が計画されており、今年中に動き出すことを期待したい。
愛知	A	値上げしにくい状況である。仕事は若干少なくなってきた。
	B	自動車関連は車種により繁忙の差が大きく相手先の受注状況によっては厳しいところもある。大手需要家の動向や海外情勢にも大きく左右されそうだが、鉄鋼メーカーの値上げを転嫁すべく引き続き努力が必要である。自動車の支給価格の上昇をフォローの風にしたい。
	C	集購は前年並み(低水準)。久しぶりに新規大口受注があった。EV化とトランプ政権が気になる。家具がしばらく前年並の水準である。しかし、手仕舞いは早いと思われる。その他、需要家向けは良くなかった。自動車はM社の輸出向けが大幅な減産になった。中小ユーザー向けの市場は斑模様である。品種に関わらず、直需向けは転嫁が遅れている。鋼板の在庫は減っている。高炉と自動車の大手の価格が決まれば、当地区の市場の反応に変化が起きるであろう。
大阪	A	戸建住宅は堅調な動きが継続しており、老人ホーム、相続税対策のアパートなどは相変わらず好調である。但し、中小物件が多く、数量的なボリューム感は物足りない感じが続いている。
	B	メーカーの値上げスピードと再販価格への転嫁にギャップがある。需要は今ひとつだが、踏ん張り所である。

広島	<p>需要の低調感に大きな変化はない中、酸洗鋼板、溶融亜鉛メッキ鋼板の入荷が悪く、急激に価格が上って苦慮している。販売先の製品価格は、この需要動向ではうまく転嫁できていない様子で、資金に乏しいユーザーの信用不安は増大するばかりである。当面、安い輸入材も入りそうにない。価格は国内メーカーが主導権を握っているので、流通にも配慮した展開に期待したい。</p>
岡山	<p>原料事情による値上げもここへきて一服感が漂い、先高観が薄れている。一方で値上り玉も入荷しており、転嫁しなければならないが実需が伴っていないのが辛い。</p>
北九州	<p>仮需一巡で1月末から引合い、注文が減少。形鋼はメーカー値上げ同調で再販価格も上げてきたが、ここへきて上値追いはトーンダウンしている。下支えが精一杯である。まだ簿価が安いいため、物件により値下げ受注も見られる。このままでは3～4月には赤字必至。鉄板はこれから値上りするだろうが、ペースは思ったよりも遅い。5幅に歯抜けが目立ってきた。メーカーの物件出荷は4月から本格化することである。それまでの辛抱か。</p>
福岡	<p>年明け中旬ごろから、引合いが多くなってきた。多品種、少量受注なのでバタバタしているが、売上は前年並みであった。特に年度末に向けて特殊車両、食品の業界が忙しくなってきた。また、材料（鉄、ステンレス、真鍮）の値上げがどう影響されるか心配である。年度末に向けて期待したい。</p>